



2018年

No.65

なごみ つうしん



++敬老会++

～ご長寿のお祝い～



9月17日は「敬老の日」でしたね。おじいさん、おばあさんのお祝いをされた方もいらっしゃるかと思います。当施設でも9月18日に、恒例の「敬老会」を開催しました！はじめに祝い年の方々に向けて、お祝いの言葉と写真を付けた職員お手製の色紙を贈らせていただきました。そしてまずは職員による余興・・・「二人羽織りでクリームたっぷりケーキ 早食い対決！」で会場を盛り上げます！

予想的中！遠慮無しにクリームが塗りたくられ、開始10秒で職員たちの顔からはクリームがこぼれ、皆さんの顔には笑みがこぼれます^^ 「終了～！」の声が掛かるまで、クリームまみれの職員達に「がんばれー！」とたくさんのエールが。皆さん応援ありがとうございました◎

さて、お次はメインイベント！新年会でも御馴染み、和楽器演奏集団「独楽(こま)」さんより、津軽三味線と和太鼓の演奏です。

体の中まで響く和太鼓の音の迫力。「わあっ」と声を出して驚かされている方や、三味線の音にあわせて体を揺らす方。間近で聞く迫力ある演奏を堪能されていました。最後は敬老会特製スイーツ、「フルーツあんみつ抹茶アイス添え」で締めです。お味は満足いただけたでしょうか？

こうして毎年お祝いさせてもらえることを心からうれしく思います。これからも、皆さんの健康とご長寿を職員一同願っております。



コラムランダム～ケアマネジャー～



皆さんは、最期の時をどこで迎えるか、お考えになった事がありますか？

ひと昔前までは、病院で亡くなる方がほとんどでしたが、徐々に自宅や施設等住み慣れた棲家で最期を迎える方も増えてきています。治療すれば回復の見込みがある場合は、もちろん治療をするべきですが、治療しても回復の見込みがない時、人としてどの様に最期を迎えたいかを考えてみることは自分の為にも、また残される人にとっても、大切な事であると考えます。機会があれば、一度ご家族で話をする機会を持ってみて下さい。

(ケアマネジャー 宮川 智子)

秋の雲の特徴



春夏秋冬、気候が違えば雲の形も変わってきます。秋の空の主役と言われる雲は、うろこ雲（巻積雲）・ひつじ雲（高積雲）。これらは天気が悪くなる前の低気圧が接近する時に、高い所で横に広がる雲です。秋に雲が変化するのは偏西風によるもので、「女心と秋の空」と言われる所以ですね。



介護老人保健施設
パークサイド
なごみ
医療法人河和会
大阪市東住吉区公園南矢田3-19-12
tel 06-6606-2211
http://psnagomi.com